

## 新築美術館屋根防水

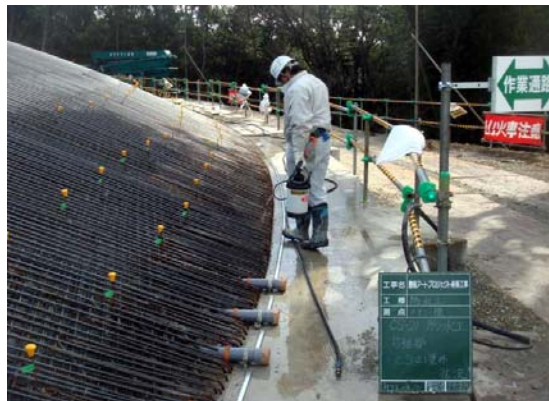
美術館の新築工事において、コンクリートの厚さ250mmのシェル構造により約40×60mのワンルーム空間の建物などが設計された。

白色コンクリートを使用したシェル（屋根）防水には、施工後の外観変化がなく、確実な防水機能が長期間確保されている浸透性防水材が検討された。乾燥収縮ひび割れ・劣化抑制（耐塩害・耐中性化）対策としてCS-21が選定され、施工を行った。

（施工箇所：メイン棟およびラウンジ棟シェル、受付棟エントランス庇 施工面積：約2,400㎡）



施工箇所全景



CS-21 散布状況：打継ぎ部



CS-21 塗布状況



散水養生状況

施工方法の詳細については、下記雑記記事およびWEBサイトをご覧ください。

関連記事：『新建築』2011年1月号 P48～63・184

関連サイト：『新建築』ホームページ

『新建築』2011年1月号 WEB連動企画 > 「豊島美術館」ムービー

関連記事：『日経アーキテクチュア』第946号(2011/2/25) P58～67

関連記事：『GA JAPAN』第108号(1-2/2011) P8～21

関連記事：『ARS』第1452号(2011/07/25) P18

関連記事：『コンクリート工学』Vol.50 №4(2012/04) TOPICS

関連サイト：日本建築学会ホームページ

2012年日本建築学会賞(作品) > 豊島美術館